

令和7年度

白帆台学童保育クラブ連絡協議会 議事録(要旨)

会議日時 令和7年6月24日(火) 18:30~19:15

会 場 白帆台学童保育クラブ 学習室

出席委員 7名中7名

事務局 4名

1. 開会あいさつ

- ・委嘱状交付
- ・会長、副会長の選出

2. 議件

1. 令和7年度白帆台学童保育クラブの現状について

- ・事務局からの「内灘町の全学童保育クラブ及び白帆台学童保育クラブ利用児童数の推移等」について説明
- ・委員からの主な質問・意見と事務局からの説明

(委員) 学童利用数が3月にかけて段々減っている。

(事務局) 学童利用の例年の傾向だが、同じ年度の中で減っていく傾向にある。新年度を迎えて新たな生活に慣れた頃や夏休みを過ぎてぐっと減る傾向がある。

(委員) 減る傾向にあるのは学童に合う、合わないということか。

(事務局) 子ども自身が成長したことによる場合もある。

(委員) 子ども自身に友達ができたとか、それぞれの家庭状況もあり、月によって減少傾向があると聞く。

(委員) 学童6か所とは、どこにあるのか。西荒屋はどこにあるのか。

(事務局) 町内小学校6校あり、学童は各1ヶ所、計6ヶ所ある。西荒屋学童は鶴ヶ丘学童と合同で保健センターの2階で保育を実施している。

2. 令和7年度白帆台学童保育クラブの活動について

- ・事務局からの「令和7年度白帆台学童保育クラブの活動実績及び予定」について説明
- ・委員からの主な質問・意見と事務局からの説明

(委員) お話し会が毎月あるが、対象児童の学年や参加人数は。

(事務局) 選書の際の配慮や場所を考え、主には1年生を対象に行っている。今年度は約30名程度参加している。

(委員) 図書館からは職員が何名来るのか。

(事務局) 図書館からは1名。補助として学童職員が1名もしくは2名見守っている。

(委員) 避難訓練が年5回とある。年5回でいいものなのか。

(事務局) 災害状況等を想定しようと思えばいろんな想定ができるが、これだけは子ども達としっかり確認しながら実施する事で、この回数になっている。

(委員) 何回するといったことが、定められているものはないのか。

(委員) 学校は避難訓練を年12回しているのか。

(委員) 学校は年12回まではしていない。集団下校や、この前は保護者との引き渡しなど、状況を変えて行っている。

(事務局) 学童として指針等で月1回する事と決まっておらず、今年度は5回計画している。

(委員) 最近、災害が多いので、避難訓練は大切だと思う。

(委員) 東日本大震災の時に、迎えに来た保護者にお子さんを返した後、その親子が津波に巻き込まれて亡くなったという報道があった。それ以後、学校の方では、ケースバイケースで、一概に迎えに来たら返すということはしないと聞いた。ものすごく特殊な場合だが。

(事務局) 学童としても災害発生時の対応ということで定めており、保護者にもお伝えはさせて貰っているが、その時の状況下での判断というところがある。

(委員) 小学校はどうですか。引き渡しについて。

(委員) 本当にケースバイケース。その時の情報を集めてどう対応するのか、引き渡しなのか、上の階に避難していただくのか、ここが避難場所になる可能性もある。ただ、どうしても連れて帰りたいと言う方もいた場合は、そこが難しい判断になるのではないかと思います。

(委員) 子どもを迎えに来て高台に避難したとしてここで過ごせるようなものが揃って

いるのか。子どもの分はあったとしても、保護者の分もとなった場合に、足りないものがあるのではないか。

(委員) 去年1月1日の地震では、宮坂区民はすぐに高台に上がってきた方が結構いた。小学校では乾パン程度しか貰えなかった。防災センターでは乾パンよりもよい食料だった。白帆台に来て毛布が貰えずに、帰宅した方がいた。また、ハマナス公民館では、大清台の人も避難してきて、ハマナス町会長が開錠したと聞いた。だから、いろんな問題や集団心理などもある。普段から、何メートルくらいでどこに逃げるとかいう事をちゃんと計画しておくことが大事。

(委員) 学童側からの問題や、こういうことに困っているとあったことがあるのか。

(事務局) 昨年度の協議会の中で、道路沿いの植栽が伸びて、往来する車が見えづらいという話があった。その事について担当課に確認したところ、今年度も刈り込む予定には入っている事を確認している。

また、児童自身が今日学童に行く日なのか帰宅する日なのか分からなくなったり、下校途中で友達と意気投合してそのまま遊ぶ気分で帰宅してしまったり、保護者の連絡忘れ等もあり、登館予定の児童が来ていないという事がある。登館予定児童を確認でき一安心して保育がスタートするところがある。中には、見守り隊の方、ご近所の方によって所在確認が取れた案件があった。地域の方々のおかげもあって、子ども達の放課後の安全が支えられていると感じている。

(委員) 子どもが来るべきなのに来なかった場合、保護者に連絡はちゃんと取れているのか。

(事務局) 緊急連絡先を控えさせていただいている。

(委員) 学童クラブの職員数は。

(事務局) 支援員が4名。支援員補助が5名在籍。

(委員) 子どもが学童に忘れ物をすることがある。学童の開館時間外であった場合、学童の鍵を学校側の先生が開けられるようにすることはできるか。

(委員) 安全管理上、分ける必要ある。

(委員) 関連付けはできても、区別することの認識も大切ではないか。

3. 閉会あいさつ